

第3回つま恋カップアーチェリー大会開催要項

1. 主催・主管 社団法人 全日本アーチェリー連盟
2. 共 催 株式会社 つま恋
3. 期 日 平成18年 5月23日（金）～25日（日）
4. 会 場 静岡県掛川市満水 2000 つま恋多目的広場
Tel 0537-24-1111
5. 競技種目 オリンピック・ラウンド
予選 成年、ジュニア 70mラウンド
キャデット 60mラウンド
6. 競技規則 2004～2005年度（社）全日本アーチェリー連盟競技規則による。
7. 競技部門 リカーブ部門
8. 種 別 ① 成年男子・成年女子
② ジュニア男子・ジュニア女子（2006年1月1日現在18歳未満）
③ キャデット男子・キャデット女子（2006年1月1日現在15歳未満）
※ジュニア・キャデットの選手は、自らの判断にて上位の種別を選ぶことができる
9. 定 員 ① 成年男子 42名 女子 39名 計 81名
② ジュニア男子 30名 女子 30名 計 60名
③ キャデット男子 21名 女子 21名 計 42名 合計183名
10. 予選通過 ① 成年男女各 16名
② ジュニア男女各 16名
③ キャデット男女各 16名（参加人数により変更あり）
11. 競技日程 23日（金） 14:00～16:00 受付、弓具検査、公式練習、開会式
24日（土） 8:30～12:00 ジュニア男女予選（70m72本）
キャデット男女予選（60m72本）
13:00～16:00 成年男女予選（70m72本）
25日（日） 8:30～15:00 決勝ラウンド全種別
12. 参加資格 ①平成18年度（社）全日本アーチェリー連盟に登録済みの者。
②（社）全日本アーチェリー連盟のシルバーバッジ以上の所有者。但しキャデットについては、公認競技会又は所属団体が行うこれに準ずる大会で、シングルラウンド・キャデットラウンド・70M（72射）の記録でもよい。但し成績一覧表等で確認できる資料を添付すること。
③18年度ナショナルチームは優先し、参加費を免除する。
13. 選考方法 ①選考対象期間内に開催された（社）全日本アーチェリー連盟公認競技会記録（シングルラウンド）の上位から選考する。得点が同点の場合次位公認記録で決定する。それでも同点の場合は選考委員の抽選により決定する。
②キャデットについては、申請点の確認後上位から選考する。得点が同点の場合次位記録で決定する。それでも同点の場合は選考委員の抽選により決定する。

14. 選考対象期間

平成17年 8月15日(月)から平成18年 5月11日(木)までとする。

15. 参加費

成年 6,000円 ジュニア 4,000円 キヤデット 2,000円

16. 申込方法

①資格を有する者は、別紙「出場資格申請書」に必要事項を記入して加盟団体から「出場資格申請統括表」を添えて、一括して申し込むこと(選考後の辞退は原則できない)。
※緊急事態により欠場する場合は、理由を明記した欠場届を加盟団体経由で(社)全日本アーチェリー連盟に提出すること。この場合参加費等の返金はしない。

申込期日 平成18年 5月 12日(金) 必着

②出場決定者は選考結果通知後1週間以内に、加盟団体より一括して下記口座に送金し、同時に納付書(コピー可)を送付する。

(社)全日本アーチェリー連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内4階 (社)全日本アーチェリー連盟事務局宛

TEL:03-3481-2402 FAX:03-3481-2403

【参加費・宿泊費振込口座】

銀行口座番号 みずほ銀行渋谷支店 普通口座 79992

郵便振替 00140-0-30048 名義 (社)全日本アーチェリー連盟

17. 宿泊場所

静岡県掛川市「つま恋」

参加選手は主催団体が斡旋する上記宿泊施設に予約することを条件とする。

宿泊費 1人 13,000円税込み(3食付)

18. 表彰

成年	男女各	1位~8位	賞品授与
ジュニア	男女各	1位~8位	賞品授与
キャデット	男女各	1位~4位	賞品授与

19. その他【注意事項】

- ①選手は(社)全日本アーチェリー連盟会員証、ならびにTバッチを持参し、常に携帯すること。
- ②練習会場の服装は試合時のものを着用すること。
- ③本大会申込期日近くに関催した公認競技会の得点記録を本大会の申請得点とした場合に郵送では間に合わない時は、出場資格申請書に公認競技成績報告書を添えてFAXで全ア連に(仮)申請すると同時に正式な書類を郵送すること。
- ④車椅子等の選手は出場資格申請書の欄にその旨を記入のこと。なお、矢取り代行が必要な選手は各自で用意すること。
- ⑤会場内には身体障害者用トイレは設置しない。
- ⑥選手は時間を厳守して受付及び弓具検査を受けて、開会式には必ず参加すること。弓具検査は当日のみとする。
- ⑦競技中の疾病等に関する応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は傷害保険(遠征・スポーツ保険)に加入して参加することが望ましい。

20. 選手の心構え

- ①選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。
(JOCによる日本選手団編成方針抜粋)
- ②ドーピング検査への対応
選手は、競技会前7日間に服用した医薬品(処方薬・売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と量を記したメモを携行することが勧められる。